

# 目 次

## 研究論文

- W.M.ヴォーリズが輸入したミーズナー製ピアノ考案の背景 ..... 1  
—— 20世紀初頭のアメリカ音楽科成り立期と器楽の導入 ——  
齊 藤 紀 子

## 研究報告

- アメリカ合衆国の「文化に関連した指導」における社会正義の考え方 ..... 13  
—— ヒップホップの教材としての意義に着目して ——  
磯 田 三津子
- 社会制度としての音楽教育プロジェクト ..... 24  
—— ドイツにおける“JeKits (Jedem Kind Instrumente, Tanzen und Singen)”の意義 ——  
清 水 久莉子

## 研究動向

- 乳児と音楽 ..... 35  
—— 音楽性の初期発達 ——  
板 倉 昭 二

## 第51回大会報告

### (会長諮問に基づく緊急プロジェクトチーム企画)

#### プロジェクト研究

- 予測困難な時代と音楽教育 ..... 45  
—— 新型コロナウイルス感染症の影響下において ——
- |       |                  |
|-------|------------------|
| 企画・司会 | 伊 野 義 博 (新潟大学)   |
| 話題提供  | 齊 藤 忠 彦 (信州大学)   |
|       | 菅 裕 (宮崎大学)       |
|       | 高 見 仁 志 (佛教大学)   |
|       | 津 田 正 之 (国立音楽大学) |

### (常任理事会企画)

#### プロジェクト研究

- 小・中学校の連携を踏まえた音楽科授業の実践研究 I ..... 53  
—— 音楽づくり・創作における学びの探究—プロジェクト研究 ——
- |       |                  |
|-------|------------------|
| 基調講演  | 益 川 弘 如 (聖心女子大学) |
| 企画・司会 | 石 上 則 子 (日本女子大学) |
|       | 佐 野 靖 (東京藝術大学)   |
|       | 市 川 恵 (早稲田大学)    |
|       | 萩 原 史 織 (東京藝術大学) |
| 話題提供  | プロジェクト研究ワーキングチーム |

第51回大会記録	61
例会報告	66
お詫びと訂正	68
『音楽教育学』投稿規定	69
編集後記	
編集委員	